

令和6年度

熊本市エイズ総合対策推進会議

日時 令和6年10月22日（火）
午後2時～4時

場所 熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルクまもと）
1階 大会議室

資料目次

1) エイズ及び性感染症の発生動向（統計）	1
2) 令和 5～9 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策（計画）	6
3) 熊本市エイズ対策事業 令和 5 年度報告・令和 6 年度計画	8
4) 受検者アンケート回答まとめ	15

参考資料

○「令和 5(2023)年エイズ発生動向エイズ動向委員会報告」より

第 163 回エイズ動向委員会 委員長コメント	17
-------------------------	----

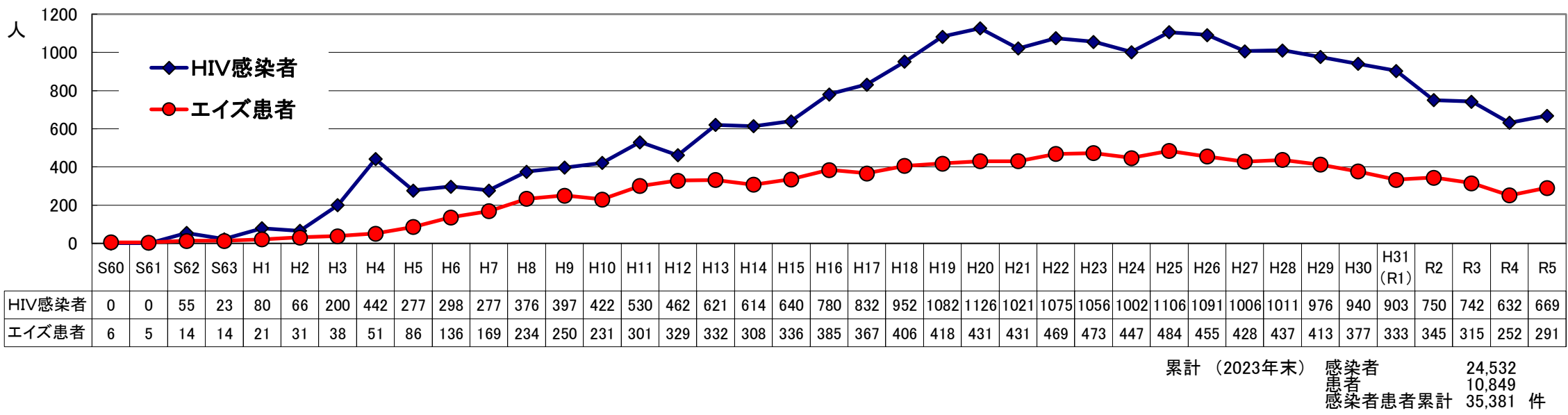
報告地別年次推移	19
----------	----

○「令和 6 年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて」

	21
--	----

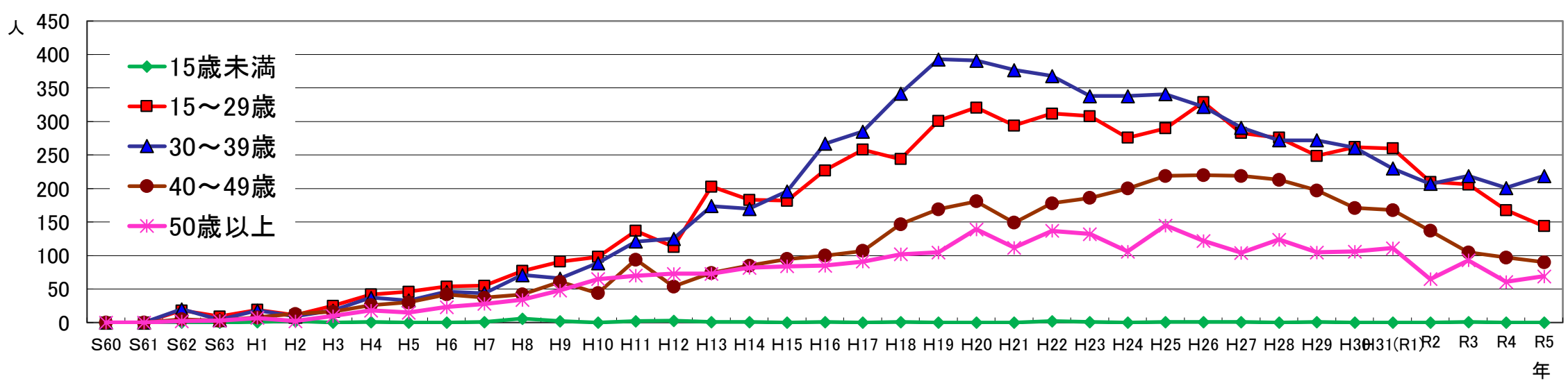
■全国のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

1. 年次推移(全国)

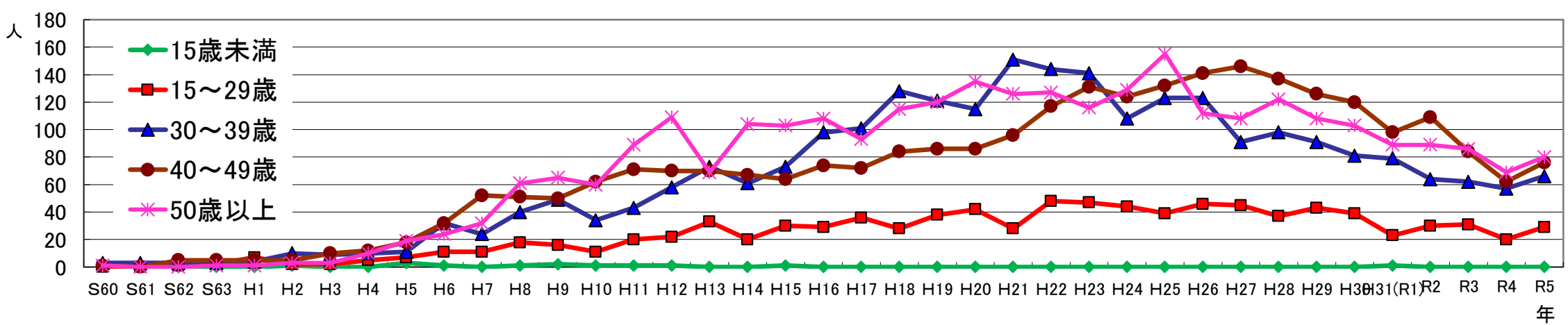


2. 年齢階級別推移(全国)（日本国籍のみ）

①新規HIV感染者数 推移(全国)【日本国籍・年齢階級別】

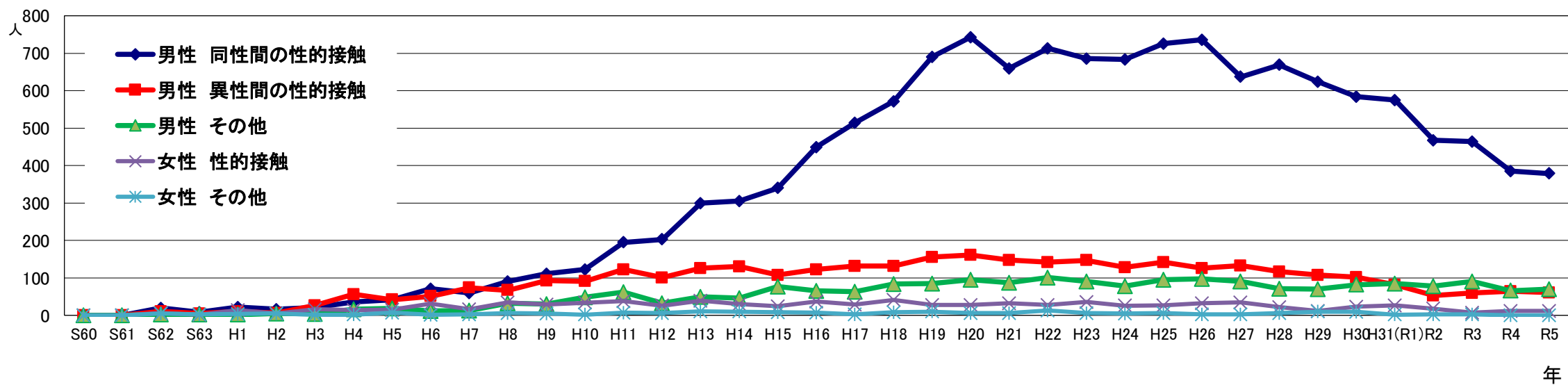


②新規AIDS患者数 推移(全国)【日本国籍・年齢階級別】

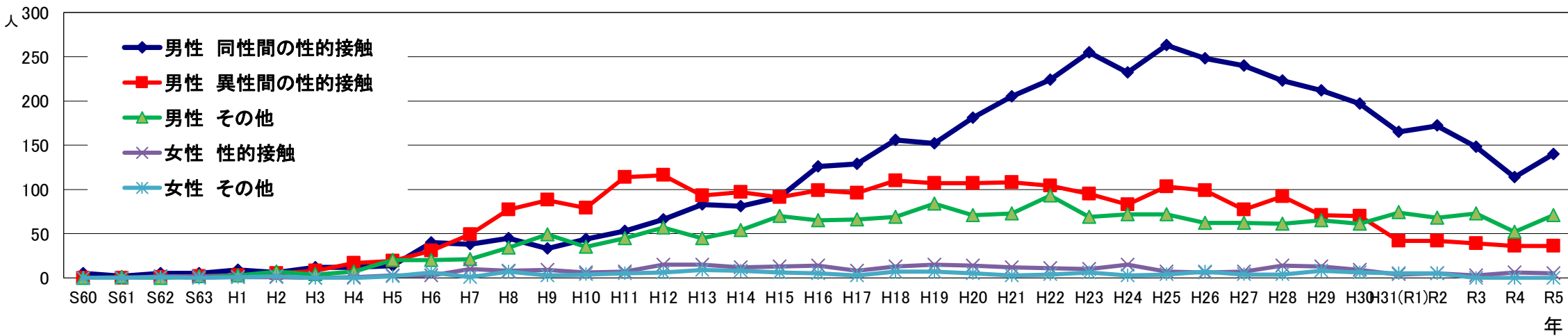


3. 感染経路別推移(全国)（日本国籍のみ）

①新規HIV感染者(全国)

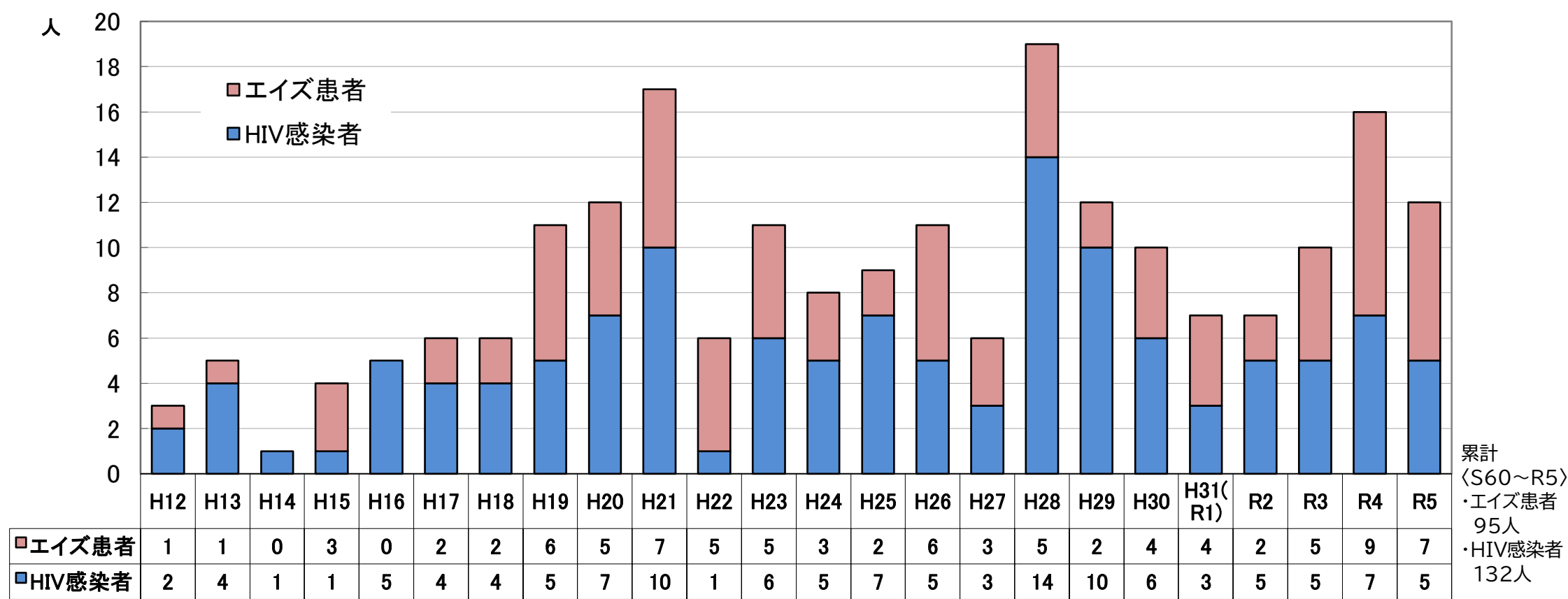


②新規AIDS患者数(全国)

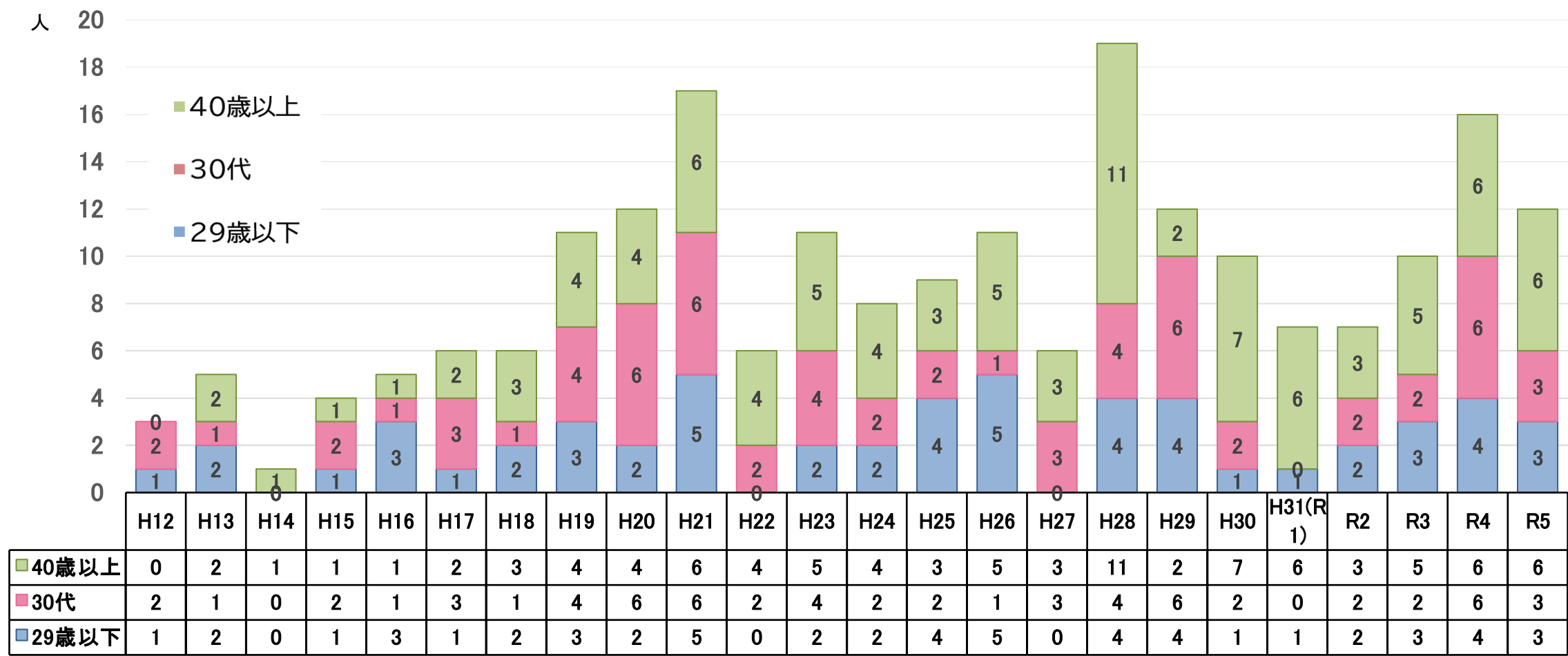


■熊本県のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

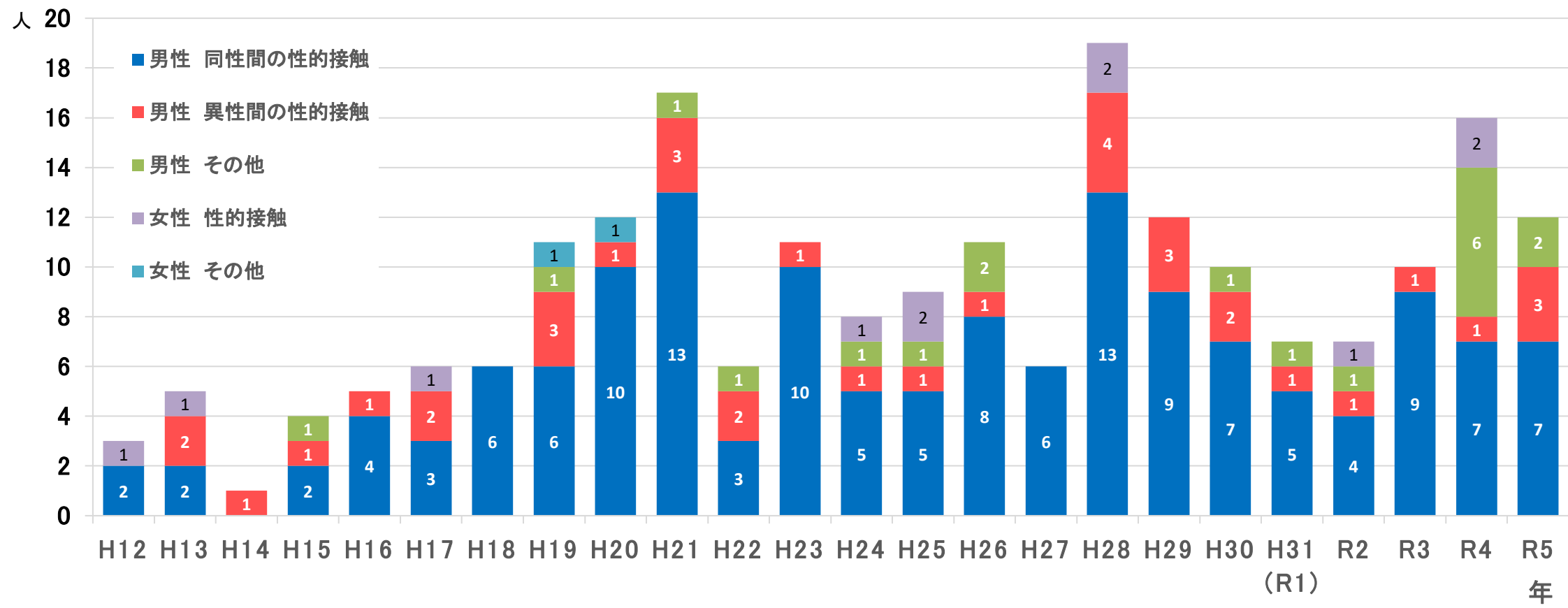
4.熊本県のHIV感染者・AIDS患者報告数の年次推移



5. 熊本県 年齢階級別推移



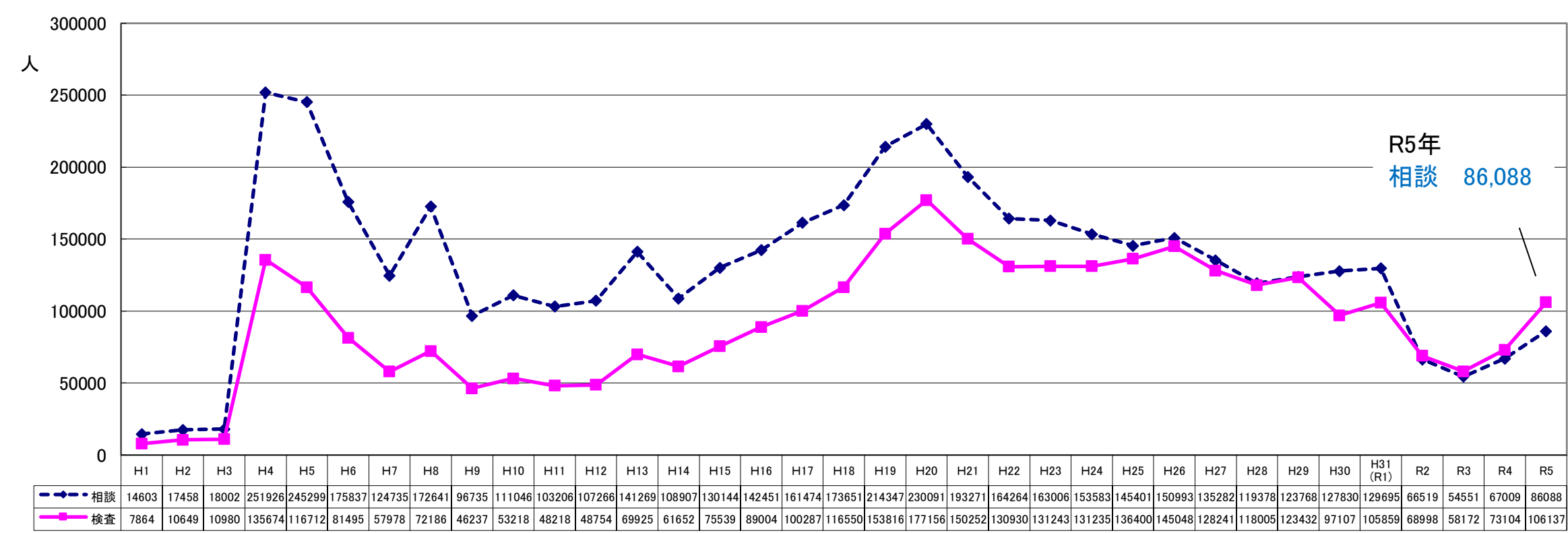
6. 熊本県 感染経路別



出典:感染症発生動向調査事業

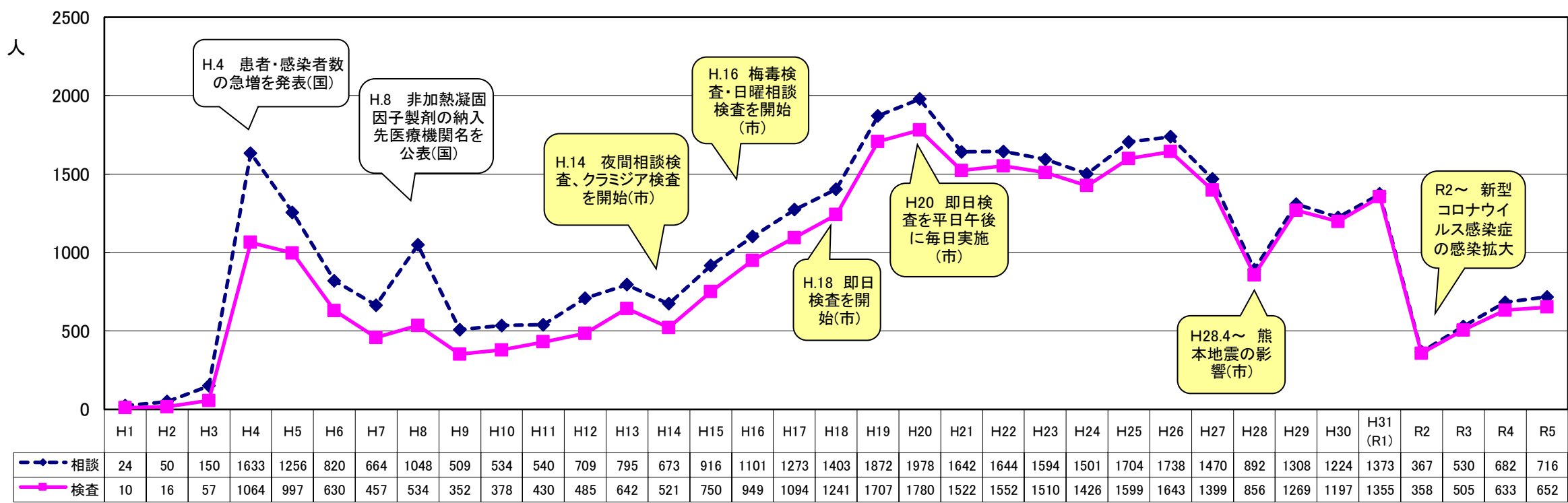
■エイズ相談・検査数推移

7.保健所などにおけるエイズ相談・検査件数(全国)



出典：厚生労働省エイズ動向委員会によるエイズ発生動向年報及びエイズ動向委員会報告

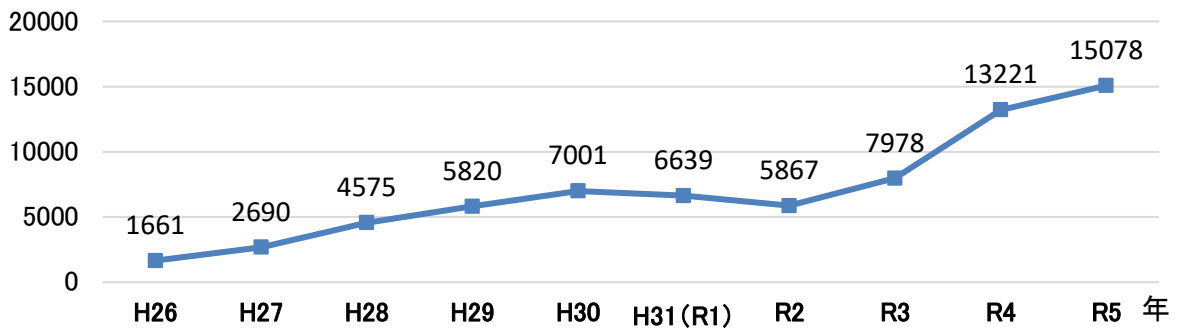
8. エイズ相談・検査数の推移(熊本市)



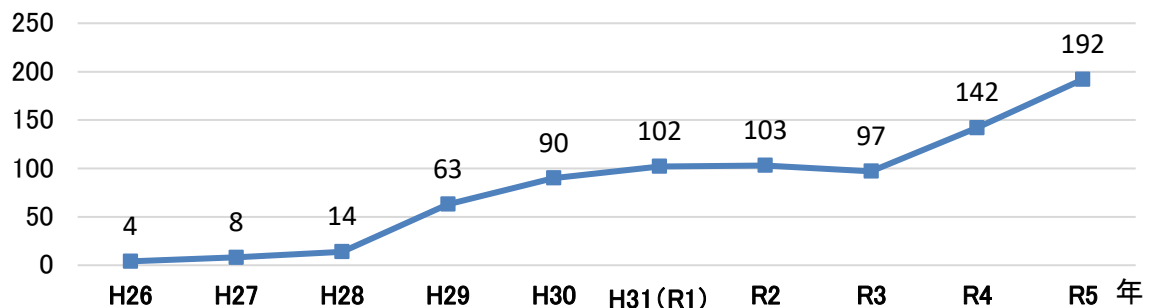
■梅毒の動向

※全数把握：診断した医師からの7日以内の届出により全数を把握

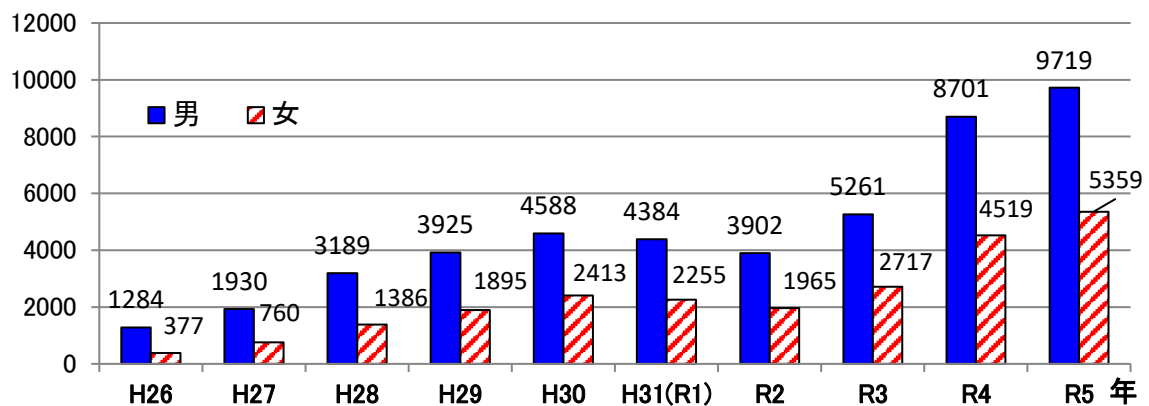
9.梅毒(全数把握)の動向(国)



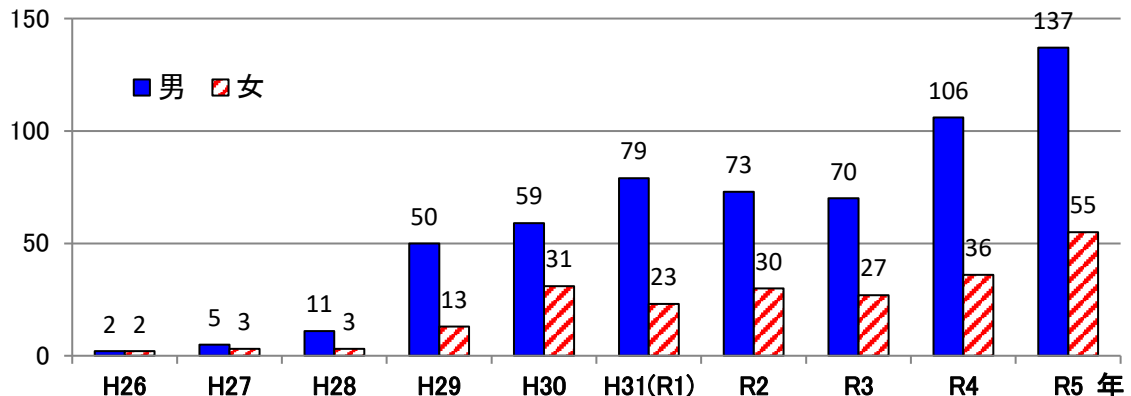
10.梅毒(全数把握)の動向(熊本市)



11.梅毒の動向(男女別・国)



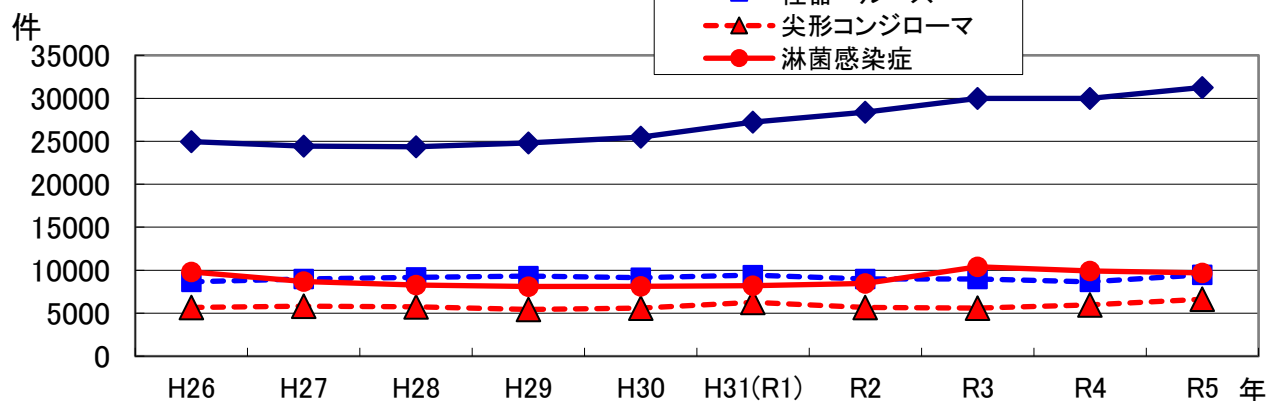
12.梅毒の動向(男女別・熊本市)



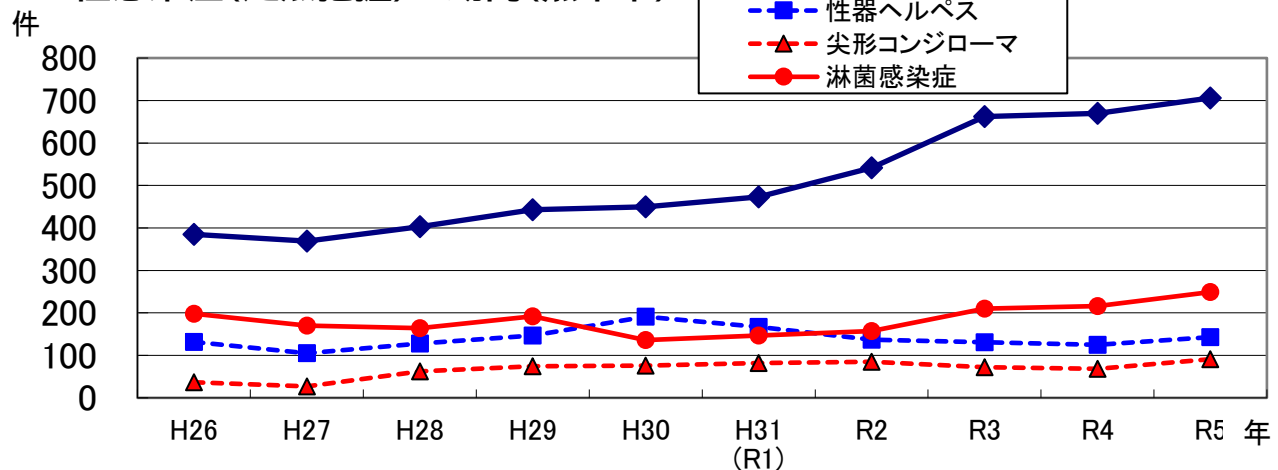
■性感染症の発生動向

※定点把握：STD定点医療機関から月1回の報告により発生状況を把握
(平成25年1月から熊本市のSTD定点数が5から6に増加)

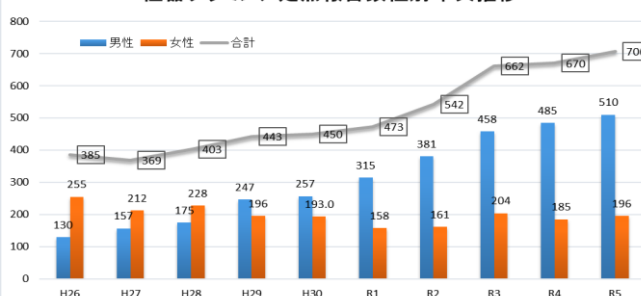
13. 性感染症(定点把握)の動向(国)



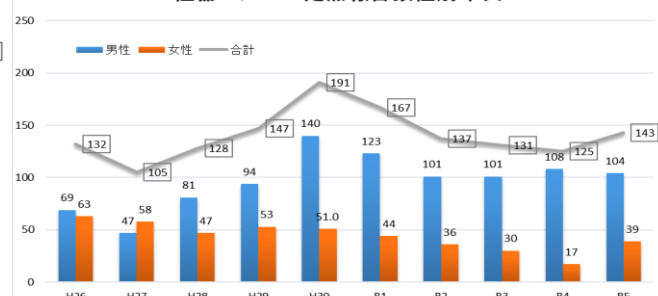
14. 性感染症(定点把握)の動向(熊本市)



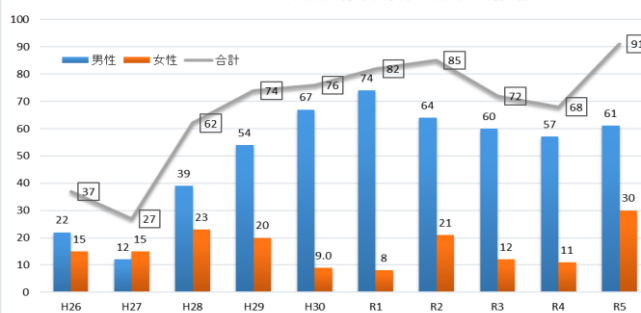
性器クラミジア定点報告数性別年次推移



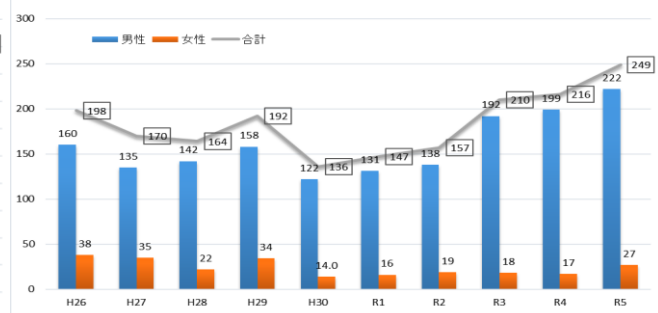
性器ヘルペス定点報告数性別年次



尖形コンジローマ定点報告数性別年次推移



淋菌感染症定点報告数性別年次推移



令和5～9年度 HIV感染および性感染症の予防対策（計画）

目的

HIV及びその他の性感染症の新規感染を減少させる

成果指標及び目標値

- 1 HIV抗体検査数の増加
（現状）令和4年：633件 ⇒（目標）令和9年：1,500件
- 2 熊本市ホームページ（HIV検査等のページ）の閲覧数の増加
（現状）令和4年：17,917件 ⇒（目標）令和9年：21,500件
- 3 熊本県の新規HIV感染者・エイズ患者報告数に占めるエイズ患者の割合の減少
（現状）令和4年：56.3% ⇒（目標）令和9年：28.5%※

※令和4年 全国の平均

3については、令和5年度の本会議後に新しく成果指標に追加した。

取組み方針

- ①普及啓発：広く市民に対し、知識と意識の向上を図り、検査体制の周知を行う。
- ②検査体制の整備：市民にとって利便性の高い検査体制を構築する。また、特に感染リスクが高いと考えられる層（青少年、MSM、性風俗従事者・利用者等）が利用しやすい体制とする。

施策（実施内容）

①正しい知識の普及啓発

〔一般〕

- ・ホームページ、ラジオ、市政だより、SNS等での広報
- ・街頭キャンペーンの実施
- ・啓発物の配布や掲示（ポスター、チラシ、パンフレット、グッズなど）
- ・医療機関への情報提供（啓発リーフレット等提供）

〔青少年〕

- ・出前講座、講師派遣事業の実施
- ・大学生ボランティア等との協働により、高校・大学で啓発キャンペーンを実施
- ・青少年向け啓発物の作成、配布

〔MSM〕

- ・ゲイバー等への啓発物やグッズの配布
- ・MSM当事者に配慮した情報発信方法の検討、実施

〔性風俗従事者・利用者〕

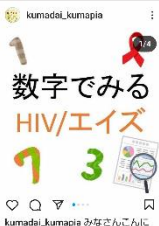
- ・ 情報収集、検査利用者への情報提供
- ・ 店舗型性風俗特殊営業所の責任者等へ啓発資料を配布、検査の情報提供

②検査相談体制の整備

- ・ 平日昼間の即日検査を継続実施
- ・ 休日、夜間の特例検査について、より効果的な検査方法を検討
- ・ 対象者を限定した検査の実施（例：MSM、青少年、性風俗産業従事者など）
- ・ 医療機関への業務委託を検討（保健所の検査は継続）

熊本市エイズ対策事業 令和5年度報告・令和6年度計画

I 正しい知識の普及啓発

施策層	令和5年度報告	令和6年度計画
青少年	【教育関係】 ★高校・専門学校への講師派遣事業再開 ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知 4月 ・実績 3校(高校2、専門学校1)、1,550人 ★出前講座(エイズ・性感染症予防講座) 再開 ※感染症対策課職員が実施 ・周知 4月 ・実績 3校(中学校3)、454人 【啓発活動】 ●高校、大学への啓発 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科 ピアカウンセリングサークル「くまびあ」 HIV勉強会、 SNSによる啓発  ●はたちの記念式典(旧 成人式) 令和6年1月8日 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布  【啓発物作成・配布・貸出し】 ●啓発物配布 啓発パネル展(6月・12月)実施時、研修会、キャンペーンなど ●パンフレット提供(購入分) 各団体、学校、医療機関、事業者等へ配布 ・実績 熊本県栄養士会ほか ●啓発パネルの貸出し ●教育用 DVD 貸出し	【教育関係】 ★高校・専門学校への講師派遣事業 ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知 4月 ・令和6年9月末時点の実績 1校 ★出前講座(エイズ・性感染症予防講座) ※感染症予防課職員が実施 ・周知 4月 ・令和6年9月末時点の実績 2校 【啓発活動】 ●高校、大学への啓発 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布 ●大学学園祭でのキャンペーン 熊本保健科学大学「杏祭」 令和6年10月19日 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科 ピアカウンセリングサークル「くまびあ」 HIV勉強会、オリジナル啓発物作成、大学学園祭でのピアカウンセリング ●はたちの記念式典(旧 成人式) 令和7年1月13日予定 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布 【啓発物作成・配布・貸出し】 ●啓発物配布 啓発パネル展(6月・12月)実施時、研修会、キャンペーンなど ●パンフレット提供(購入分) 各団体、学校、医療機関、事業者等へ配布 ●啓発パネルの貸出し ●教育用 DVD 貸出し

施策層	令和 5 年度報告	令和 6 年度計画
MSM (男性間で性行為を行う者をいう。以下同じ。)	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※¹との協働】 ●HIV 検査普及啓発 Safety Blanket より SNS にて特例検査等の周知 ●情報交換(随時) 情報交換、情報共有 ●市ホームページに HIV 検査啓発記事掲載 「熊本市保健所での検査の受け方」(写真説明入り)(継続) 【その他】 ●市内のゲイバー6ヶ所に特例 HIV 検査案内チラシを送付 ●相談室に MSM 向けパンフレット及びステッカー添付コンドームを陳列(持ち帰り自由) ●相談室に MSM 向け啓発パネル展示 ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ●相談室・待合室に LGBT 関連冊子(閲覧用)を設置 ●ホームページの HIV 検査案内記事へ、関連情報とともに、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報も掲載 ●熊本市公式 LINE による情報発信 対象者:20~50 代男性 性感染症予防啓発記事を定期的に配信	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」との協働】 ●HIV 検査普及啓発 Safety Blanket より SNS にて特例検査等の周知 ●情報交換(随時) 情報交換、情報共有 ●市ホームページに HIV 検査啓発記事掲載 「熊本市保健所での検査の受け方」(写真説明入り)(継続) 【その他】 ●市内のゲイバー5ヶ所に特例 HIV 検査案内チラシを送付 ●相談室に MSM パンフレット及びステッカー添付コンドームを陳列(持ち帰り自由) ●相談室に MSM 向け啓発パネル展示 ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ●相談室・待合室に LGBT 関連冊子(閲覧用)を設置 ●ホームページの HIV 検査案内記事へ、関連情報とともに、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報も掲載 ●熊本市公式 LINE による情報発信 対象者:20~50 代男性 性感染症予防啓発記事を定期的に配信
外国人	●外国人受検者向け検査前説明プリント及び結果説明プリントの作成、活用 ●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ掲載(英語版) ●タブレットを使用し、翻訳アプリを活用	●外国人受検者向け検査前説明プリント及び結果説明プリントの作成、活用 ●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ掲載(英語版) ●タブレットを使用し、翻訳アプリを活用
性風俗産業従事者・利用者	●検査相談利用時に個別に情報提供	●検査相談利用時に個別に情報提供
薬物乱用者	●情報収集	●情報収集

施策層	令和 5 年度報告	令和 6 年度計画
市民	【マスコミ】 ●ラジオ広報:4 回実施 ●市政だより:2 回(6 月、12 月) ★熊本市公式 X(旧 Twitter)、LINE:定期的に情報発信 ★各区役所及び総合出張所窓口番号案内モニター広告にて啓発動画放映 【啓発物作成・配布】 ●HIV 検査案内チラシ・カードの作成・配布(随時) ●エイズ予防啓発ポスター ・HIV 検査普及週間、エイズデー啓発ポスターによる啓発 ●ウェルパルクまもと 4 階窓口に啓発パンフレット、グッズを配置(常時) ●ウェルパルクまもと 1 階ウインドウに特大ポスター掲示(随時更新) ●HIV 検査広報ステッカー掲示 ・本庁舎トイレ、ウェルパルクまもとトイレ、市電車内への掲示(継続) ●産婦人科、泌尿器科等への性感染症パンフレット、チラシ送付 ●エイズ啓発パネル展示 - ウェルパルクまもと 1 階玄関ホールにて ・6 月 HIV 検査普及週間前後に展示 ・12 月 世界エイズデー前後に展示 ●「HIV 検査普及週間」「世界エイズデー」に合わせて熊本城天守閣ライトアップ(赤色) ●エイズ相談室周辺にパネル展示(常設) ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新(「エイズ啓発資材」) ●ホームページアクセス数(件) 「熊本市 HIV(エイズ)検査相談※2」(R5.1~R5.12) 14,203 件(月あたり約 1,184 件) 「HIV(エイズ)検査の WEB 予約について」(R5.1~R5.12) 6,684 件(月あたり約 557 件) ●YouTube にて「HIV・梅毒」啓発動画配信	【マスコミ】 ●ラジオ広報 ●市政だより ●熊本市公式 X(旧 Twitter)、LINE:定期的に情報発信 ●各区役所及び総合出張所窓口番号案内モニター広告にて啓発動画放映 【啓発物作成・配布】 ●HIV 検査案内チラシ・カードの作成・配布(随時) ●エイズ予防啓発ポスター ・HIV 検査普及週間、エイズデー啓発ポスターによる啓発 ●ウェルパルクまもと 1 階玄関ホールおよび 4 階窓口に啓発パンフレット、グッズを配置(常時) ●ウェルパルクまもと 1 階ウインドウに特大ポスター掲示(随時更新) ●HIV 検査広報ステッカー掲示 ・本庁舎トイレ、ウェルパルクまもとトイレ、市電車内への掲示(継続) ●産婦人科、泌尿器科等への性感染症パンフレット、チラシ送付 ●エイズ啓発パネル展示 - ウェルパルクまもと 1 階玄関ホールにて ・6 月 HIV 検査普及週間前後に展示 ・12 月 世界エイズデー前後に展示 ●「HIV 検査普及週間」「世界エイズデー」に合わせて熊本城天守閣ライトアップ(赤色) ●エイズ相談室周辺にパネル展示(常設) ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新(「エイズ啓発資材」) ●ホームページアクセス数(件) 「熊本市 HIV(エイズ)検査相談」(R6.1~R6.8) 10,050 件(月あたり約 1,257 件) 「HIV(エイズ)検査の WEB 予約について」(R6.1~R6.8) 3,441 件(月あたり約 431 件) ●YouTube にて「HIV・梅毒」啓発動画配信

※1 Safety Blanket(旧称「KK」平成 28 年 2 月に改名)

平成 25 年 12 月に結成された熊本のゲイ当事者によるサークル。

平成 26 年 9 月から熊本市と協働してエイズ啓発活動等を行っている。

※2 熊本市ホームページ内「熊本市 HIV(エイズ)検査相談」(スマートフォン対応)

https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=3355&class_set_id=3&class_id=575

(スマートフォン用 QR コード⇒)



2 相談検査体制の充実

	令和 5 年度報告	令和 6 年度計画
検査体制 の充実	●エイズ相談検査体制 ・即日検査(予約制) 火～木曜日 9:00～11:00 ・特例検査(即日検査、予約制) ① 6/5(日) 受付 13:30～14:30 受検者 17 人 ② 12/4(日) 受付 13:30～14:30 受検者 14 人 ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応(特例検査を除く) ※希望者は、梅毒検査を同時受検可能 ●WEBでの検査予約受付 ●YouTube で検査前説明を動画配信(検査予約者専用)  ●受検者アンケートの実施 受検者へアンケートを実施し、検査体制の改善につなげる(アンケートは任意回答、ボックスにて回収し、個人を特定しない)	●エイズ相談検査体制 ・即日検査(予約制) 火～木曜日 9:00～11:00 ・特例検査(即日検査、予約制) ① 6/2(日) 受付 13:30～14:30 ※実施済 受検者 18 人 ② 12/1(日) 受付 13:30～14:30 実施予定 ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応(特例検査を除く) ※希望者は、梅毒検査を同時受検可能(特例検査では、クラミジアPCR検査も同時受検可能) ●WEBでの検査予約受付  ●YouTube で検査前説明を動画配信(検査予約者専用) ●受検者アンケートの実施 受検者へアンケートを実施し、検査体制の改善につなげる(アンケートは任意回答、ボックスにて回収し、個人を特定しない)

	令和 5 年度報告	令和 6 年度計画
	●検査数 ■実績(件) 令和 5 年度 ・相談数 708 検査数 650 特例検査〔再掲〕相談 30 検査 30 ・梅毒検査 627	●検査数 〈令和5年4月～9月までの実績(件)〉 ・相談数 348 検査数 318 特例検査〔再掲〕相談 18 検査 18 ・梅毒検査 309 ・クラミジアPCR検査 17
相談業務 の充実	【研修・会議】 ・「HIV/エイズ基礎研修会」(エイズ予防財団)(オンライン研修) 6/23 2名参加 ・「HIV 検査相談研修会」(エイズ予防財団)(オンライン研修) 8/17～8/18 1名参加 ・「九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議」(オンライン会議) 9/28 2名参加 ・「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」(国立病院機構九州医療センター)(オンライン研修) 10/13 2名参加 ・「青少年エイズ対策事業研修会」(宝塚大学)(オンライン研修) 10/27 2名参加 【その他】 ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本の LGBT 支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置	【研修・会議】 ・「HIV/エイズ基礎研修会」(エイズ予防財団)(オンライン研修) 6/21 1名参加 ・「HIV 検査相談研修会」(エイズ予防財団)(オンライン研修) 8/22～8/23 1名参加 ・「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」(国立病院機構九州医療センター)(オンライン研修) 10/4 3名参加 ・「九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議」(オンライン会議) 10/17 1名参加予定 ・「エイズ対策研修」(国立保健医療科学院)(オンライン研修) 10/15～10/18 1名参加予定 ・「青少年エイズ対策事業研修会」(宝塚大学)(オンライン研修) 10/24 2名参加予定 開催日修正済 【その他】 ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本の LGBT 支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置

○HIV 検査普及週間 6/1～7 ○世界エイズデー 12/1

3 その他

(1) 医療体制および生活支援体制

	令和 5 年度報告	令和 6 年度計画
医療体制	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●拠点病院との連携・情報交換 ・随時、担当者間で情報交換 ・3/19 令和 5 年度熊本県 HIV 感染症/AIDS 症例検討会（熊本大学病院）2名参加 ●一般の医療機関（泌尿器科、産婦人科、皮膚科）へエイズ・性感染症に関する情報を提供 ・「森都医報（熊本市医師会）11月号」HIV／エイズの現状と対策について	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●拠点病院との連携・情報交換 ・随時、担当者間で情報交換 ・6/21 令和 6 年度熊本県 HIV 感染症/AIDS 診療ネットワーク講演会（熊本大学）2名参加 ●一般の医療機関（泌尿器科、産婦人科、皮膚科）へエイズ・性感染症に関する情報を提供 ・「森都医報（熊本市医師会）R7.1月号」啓発記事掲載予定 ・市内の医療機関へ PrEP（曝露前予防内服）に関する情報提供および診療体制整備のお願い
生活支援体制・福祉制度	●必要時、関係機関やホームヘルパー等に HIV に対する正しい情報を提供 ※福祉制度：身体障害者手帳及び更生医療による医療費助成・福祉サービス（担当課：障がい福祉課）	●必要時、関係機関やホームヘルパー等に HIV に対する正しい情報を提供 ※福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（担当課：障がい福祉課）

(2) 推進体制の整備

	令和 5 年度報告	令和 6 年度計画
熊本市エイズ総合対策推進会議	●令和 5 年 10 月 24 日会議開催 ●報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）に関する施策及び実績の報告、評価	●令和 6 年 10 月に会議開催 ●報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）に関する施策及び実績の報告、評価
NGO とのパートナーシップ推進	●ボランティア団体との協働（情報交換等）	●ボランティア団体との協働（情報交換等）

感染症予防課職員による中学生対象の出前講座



専門医による高校・専門学校での講習会



エイズ啓発パネル展(ウェルパルクまもと1階)



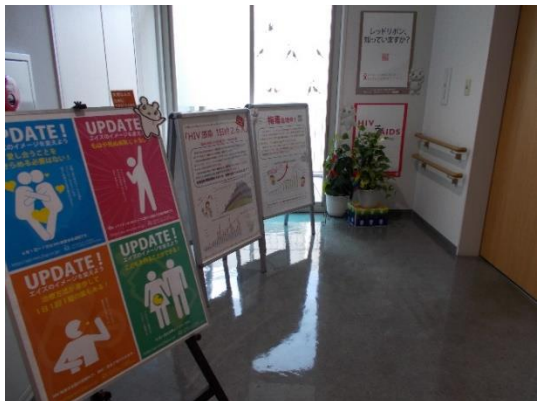
エイズ啓発パネル展(市内の医療機関)
ご協力:熊本市栄養士会



熊本市保健所 エイズ相談室内

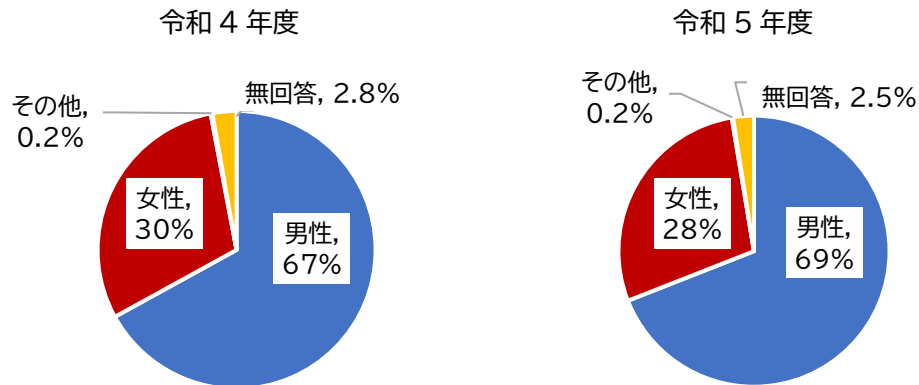


熊本市保健所 エイズ相談室前廊下

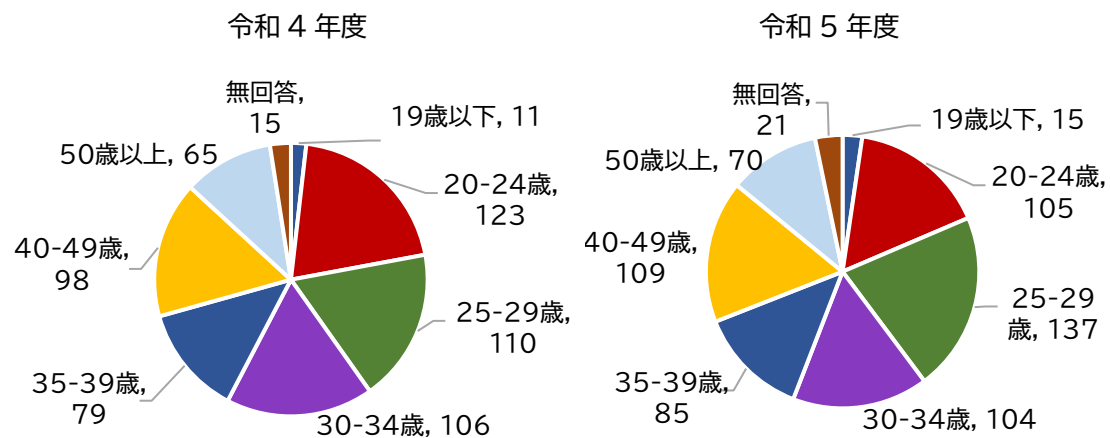


受検者アンケート回答まとめ

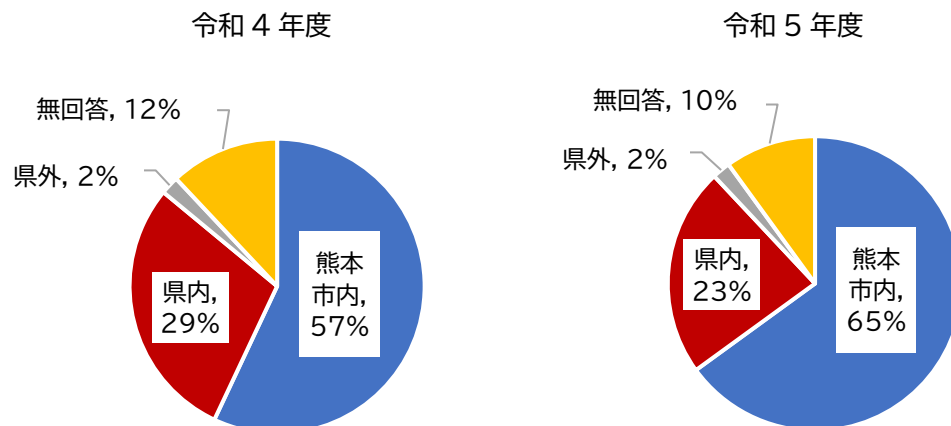
①性別



②年代

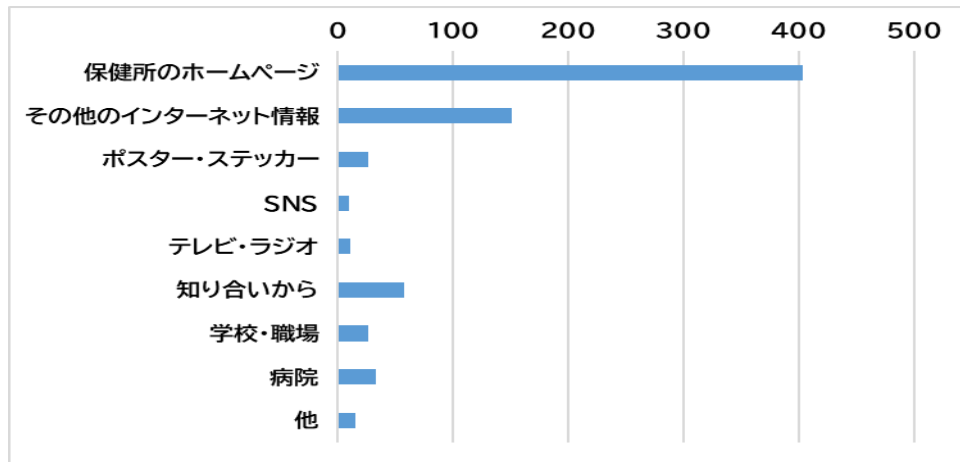


③居住地

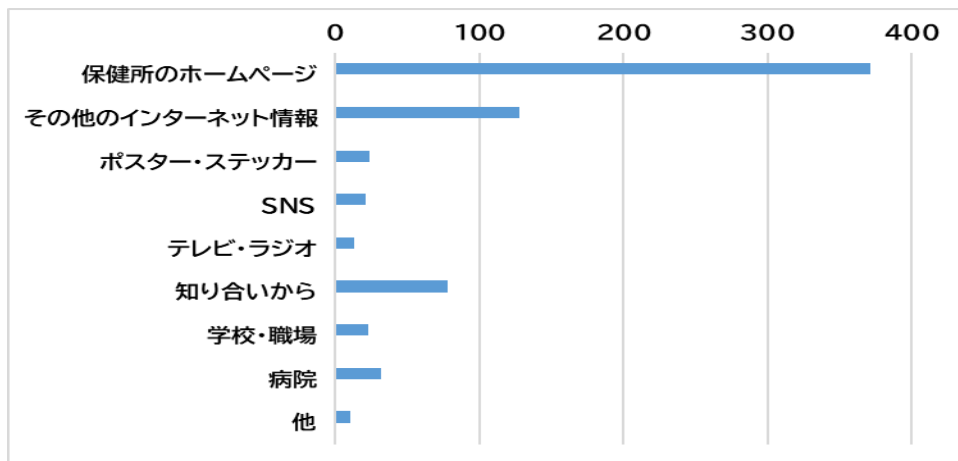


検査を知ったきっかけ（複数回答可）

令和 4 年度

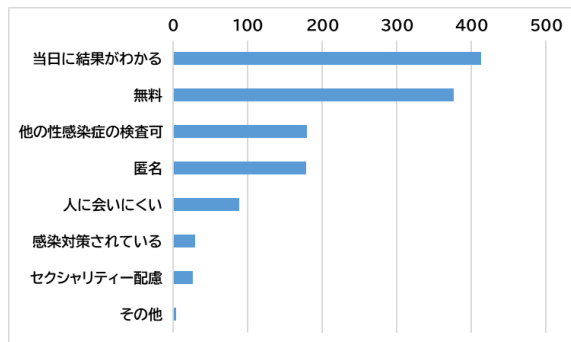


令和 5 年度

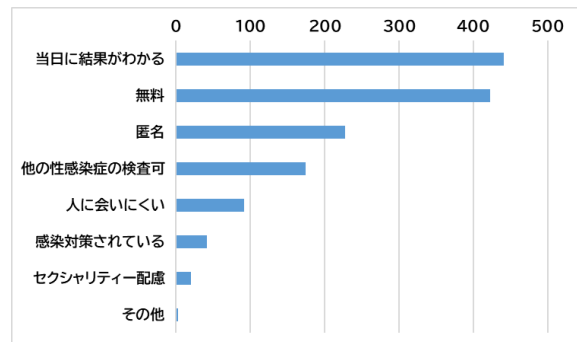


重視する点（2 つまで選択）

令和 4 年度



令和 5 年度



第163回エイズ動向委員会 委員長コメント

《令和5年 HIV感染者・AIDS患者の年間新規報告数（確定値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は、令和5年1月1日～12月31日の1年間
2. 新規HIV感染者報告数は、669件（過去20年間で、19番目に多い報告数）
3. 新規AIDS患者報告数は、291件（過去20年間で、19番目に多い報告数）
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は960件
（過去20年間で、19番目に多い報告数）

【感染経路・年齢等の動向】

1. **新規HIV感染者：**
 - 同性間性的接触によるものが476件（全HIV感染者報告数の約71%）
 - 異性間性的接触によるものが90件（全HIV感染者報告数の約13%）
 - 静注薬物によるものは2件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～40歳代が多い。
2. **新規AIDS患者：**
 - 同性間性的接触によるものが157件（全AIDS患者報告数の約54%）
 - 異性間性的接触によるものが44件（全AIDS患者報告数の約15%）
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30～50歳代が多い。

【検査・相談件数の概況】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数は106,137件
（過去20年間で、15番目に多い件数）
2. 保健所等における相談件数は86,088件
（過去20年間で、17番目に多い件数）

《まとめ》

1. 令和5年の新規HIV感染者報告数については、令和4年より増加しており6年連続での減少から、増加に転じた。要因としては、新型コロナウイルス感染症の流行以降減少していた保健所等での検査件数が回復したことが影響している可能性がある点に留意し、今後の状況を注視していく必要がある。
2. 令和5年の新規AIDS患者報告数の増加は、新型コロナウイルス感染症の流行以降、保健所等での検査件数が減少していたことが影響している可能性が否定できない点に留意し、今後の状況を注視していく必要がある。
3. 新規HIV感染者の感染経路は、性的接触によるものが約85%（うち約84%が同性間）、新規AIDS患者では約69%（うち約78%が同性間）となっている。また、新規HIV感染者・新規AIDS患者ともに、男性が全体の9割を超えている。

4. 献血時のH I V抗体・核酸増幅検査における 10 万件当たりの陽性件数は令和 4 年と比べて減少した。しかし、依然として陽性件数があることを踏まえると、H I V感染リスクがある方は、保健所等での無料・匿名検査や医療機関による検査を受けていただきたい。
5. 新規報告数全体に占めるA I D S患者報告数の割合は、依然として約 3 割のまま推移している。A I D S発症防止のためには、H I V感染後の早期発見が重要である。H I V感染リスクがある方は、早期発見のため、積極的に保健所等での無料・匿名検査や医療機関による検査を受けていただきたい。また、保健所及び自治体におかれては、エイズ予防指針を踏まえ、利便性に配慮したH I V検査相談体制を推進していただきたい。
6. H I V感染症は予防可能な感染症であり、適切な予防策をとることが重要である。また、A I D S発症予防のためには、早期発見と早期治療が重要である。感染予防と早期発見は、社会における感染の拡大防止にもつながることから、首都圏を始め都市部、また都市部以外の地域においても、梅毒などの性感染症を含め、保健所等での無料・匿名の検査・相談や医療機関による検査を積極的にご利用いただきたい。

表 報告地別年次推移(HIV感染者)

外国国籍含む

ブロック名	県名	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
北海道・東北ブロック	北海道	9	14	17	15	15	23	16	18	20	23	19	35	23	19	21	27	17	19	17	26
	青森県	3	5	4	3	5	4	2	3	3	1	2	1	2	4	5	2	4	4	1	2
	岩手県	0	2	0	3	2	1	3	0	3	1	2	1	2	1	0	1	2	1	0	0
	宮城県	8	7	13	9	9	4	3	12	5	8	8	6	9	10	6	11	5	6	9	8
	秋田県	1	1	1	2	1	0	0	2	3	0	1	2	0	0	0	1	1	2	0	1
	山形県	1	0	1	2	2	2	2	1	1	0	1	2	3	0	1	3	2	2	2	0
	福島県	1	1	4	4	3	3	5	4	6	1	3	5	7	5	4	7	2	5	6	2
	ブロック計	23	30	40	38	37	37	31	40	41	34	36	52	46	39	37	52	33	39	35	39
関東・甲信越ブロック	茨城県	11	10	17	11	11	14	8	16	16	18	10	12	9	9	11	4	11	10	6	18
	栃木県	6	10	27	12	10	10	5	14	9	8	12	7	3	9	10	11	5	3	11	7
	群馬県	4	6	6	13	10	9	4	7	9	11	14	9	7	8	6	14	7	10	9	6
	埼玉県	18	24	17	26	27	27	23	28	25	30	24	22	25	25	18	31	18	16	10	15
	千葉県	26	24	29	35	25	34	37	35	29	42	36	32	31	34	36	30	22	17	12	18
	東京都	308	322	354	420	447	374	400	320	372	363	410	364	370	362	351	335	303	294	235	247
	神奈川県	54	48	53	59	66	57	55	58	66	89	68	54	57	57	53	44	33	44	24	34
	新潟県	6	3	4	1	1	2	2	6	8	6	2	5	2	9	3	5	0	0	5	4
	山梨県	6	3	6	1	3	7	0	9	2	3	1	2	7	4	0	1	5	1	3	2
	長野県	18	6	15	6	6	7	10	13	10	8	4	3	3	11	10	5	8	2	1	4
	ブロック計	457	456	528	584	606	541	544	506	546	578	581	510	514	528	498	480	412	397	316	355
東海ブロック	岐阜県	2	7	8	14	5	6	11	21	11	7	9	14	20	9	14	7	7	5	6	10
	静岡県	19	27	29	23	24	18	25	32	17	20	16	21	15	11	15	13	10	17	10	13
	三重県	5	10	2	10	7	2	6	7	6	11	9	6	8	7	7	3	8	3	4	3
	愛知県	48	54	80	86	62	54	82	76	79	65	67	62	70	41	76	66	58	58	47	58
	ブロック計	74	98	119	133	98	80	124	136	113	103	101	103	113	68	112	89	83	83	67	84
北陸ブロック	富山県	2	3	1	2	1	1	2	2	3	4	2	1	3	5	1	4	1	3	0	1
	福井県	1	1	1	1	2	0	4	4	7	2	2	1	0	0	2	0	1	0	1	0
	石川県	4	5	7	6	8	3	7	7	3	5	9	4	4	3	4	2	5	3	1	3
	ブロック計	7	9	9	9	11	4	13	13	13	11	13	6	7	8	7	6	7	6	2	4
近畿ブロック	滋賀県	4	5	5	8	9	2	1	2	5	6	4	4	6	5	6	6	2	6	3	2
	京都府	20	8	21	16	19	13	12	10	8	16	12	10	13	13	13	13	6	3	3	9
	大阪府	105	121	128	147	187	171	198	169	124	172	156	168	140	124	116	106	89	82	73	63
	兵庫県	18	16	26	26	28	31	25	29	27	32	23	21	20	25	21	19	28	23	17	12
	奈良県	3	4	6	7	4	6	9	8	7	4	8	10	1	4	3	5	0	5	5	1
	和歌山県	2	3	0	4	4	4	3	5	6	6	3	5	5	3	2	0	0	2	1	2
	ブロック計	152	157	186	208	251	227	248	223	177	236	206	218	185	174	161	149	125	121	102	89
中国・四国ブロック	鳥取県	0	1	2	1	1	3	0	1	0	1	0	1	1	2	1	3	0	1	1	2
	島根県	0	2	2	0	0	0	3	4	0	0	1	1	1	0	1	1	0	2	3	1
	岡山県	3	8	3	7	14	8	11	9	11	16	13	17	10	16	15	8	7	7	3	3
	広島県	15	11	6	17	15	24	18	17	10	21	16	5	15	7	8	13	5	4	8	9
	山口県	2	3	4	6	8	6	7	3	2	3	1	4	6	4	2	2	2	2	5	1
	徳島県	1	1	0	1	1	4	4	7	1	1	4	6	6	2	3	4	0	1	2	2
	香川県	4	2	1	3	7	1	4	5	4	9	1	7	4	7	3	6	3	5	3	1
	愛媛県	2	2	6	3	6	1	4	6	5	2	5	5	4	5	5	5	2	3	2	3
	高知県	3	1	2	4	2	2	2	1	1	2	4	1	5	3	4	1	4	0	5	0
	ブロック計	30	31	26	42	54	49	53	53	34	55	45	47	52	46	42	43	23	25	32	22
九州ブロック	福岡県	9	22	25	25	29	38	35	40	43	46	46	30	46	54	39	44	29	30	46	45
	佐賀県	0	2	0	0	2	2	1	3	4	7	4	3	3	2	6	6	7	6	3	1
	長崎県	2	0	1	3	4	7	1	5	2	1	7	3	0	4	3	5	1	2	2	6
	熊本県	5	4	4	5	7	10	1	6	5	7	5	3	14	10	6	3	5	5	7	5
	大分県	4	4	0	2	4	3	4	4	5	4	9	2	5	2	6	4	4	4	4	2
	宮崎県	1	5	2	3	1	1	2	7	2	4	8	8	3	7	4	3	2	4	2	2
	鹿児島県	4	1	2	6	6	7	7	7	5	5	7	4	6	11	6	8	6	4	5	7
	沖縄県	12	13	10	24	16	15	11	13	12	15	23	17	17	23	13	11	13	16	9	8
	ブロック計	37	51	44	68	69	83	62	85	78	89	109	70	94	113	83	84	67	71	78	76
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	632	669

表 報告地別年次推移(AIDS患者)

外国国籍含む

ブロック名	県名	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
北海道・東北ブロック	北海道	7	6	11	8	12	11	5	10	7	14	9	12	19	15	8	12	5	8	7	17
	青森県	1	4	2	1	2	3	1	1	1	1	3	2	2	2	0	1	1	4	1	4
	岩手県	0	2	4	2	3	3	2	2	1	0	1	3	0	2	4	0	0	0	0	1
	宮城県	6	4	2	7	4	5	7	5	7	10	4	8	3	3	5	5	3	3	3	3
	秋田県	1	1	1	5	0	2	3	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
	山形県	1	1	3	2	2	2	0	1	1	0	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0
	福島県	3	2	5	4	3	2	1	1	2	1	2	2	5	7	2	2	1	1	2	4
	ブロック計	19	20	28	29	26	28	19	22	20	26	20	27	30	30	21	22	12	16	13	29
関東・甲信越ブロック	茨城県	15	19	17	9	7	10	9	8	9	5	11	7	5	3	6	2	6	7	10	3
	栃木県	10	6	11	9	10	8	8	8	11	9	10	4	6	4	5	4	5	6	0	2
	群馬県	5	9	6	6	6	5	4	8	6	7	7	2	9	5	5	3	5	5	2	6
	埼玉県	23	15	16	9	14	9	10	16	17	11	23	13	15	9	14	15	11	12	17	17
	千葉県	30	26	21	22	31	19	22	21	24	30	21	22	19	17	15	11	14	14	14	18
	東京都	103	95	99	90	96	96	107	84	92	110	96	71	97	97	72	71	79	63	53	55
	神奈川県	28	21	25	37	26	24	22	25	34	30	29	33	26	25	26	27	32	23	14	16
	新潟県	2	1	3	1	5	4	4	4	0	6	1	1	2	0	2	3	3	1	2	3
	山梨県	3	1	1	4	0	1	1	1	2	0	1	3	2	3	0	2	3	2	0	0
	長野県	21	14	12	8	8	4	6	6	7	8	4	2	4	7	2	5	2	3	1	1
	ブロック計	240	207	211	195	203	180	193	181	202	216	203	158	185	170	147	143	160	136	113	121
東海ブロック	岐阜県	1	5	7	4	7	10	8	12	4	9	11	10	6	3	9	7	9	9	1	5
	静岡県	12	10	7	14	7	8	8	12	12	16	8	6	7	8	13	8	10	3	4	4
	三重県	3	4	11	8	4	4	3	5	2	7	2	0	5	5	7	5	1	3	0	0
	愛知県	24	24	30	39	47	32	56	50	40	33	32	43	32	26	26	29	25	30	22	27
	ブロック計	40	43	55	65	65	54	75	79	58	65	53	59	50	42	55	49	45	45	27	36
北陸ブロック	富山県	0	4	2	1	1	3	0	2	1	1	0	3	2	5	0	2	2	3	2	0
	福井県	1	0	2	3	1	0	4	2	2	1	6	3	0	1	0	0	1	1	1	0
	石川県	1	1	1	1	4	3	1	4	6	5	3	2	0	2	0	1	1	3	2	0
	ブロック計	2	5	5	5	6	6	5	8	9	7	9	8	2	8	0	3	4	7	5	0
近畿ブロック	滋賀県	2	2	3	1	2	7	0	4	4	7	5	6	4	5	4	6	4	2	2	1
	京都府	4	4	10	9	7	10	8	6	3	6	6	8	7	10	7	3	8	3	1	6
	大阪府	27	31	24	41	51	62	68	65	56	54	53	53	48	50	41	34	24	24	18	17
	兵庫県	8	10	22	11	13	12	16	17	18	21	11	7	15	11	5	6	15	8	7	8
	奈良県	5	2	7	3	0	8	7	5	4	4	6	4	2	3	3	2	1	0	3	4
	和歌山県	2	6	1	6	1	2	1	3	3	4	1	3	1	2	1	1	2	1	1	1
	ブロック計	48	55	67	71	74	101	100	100	88	96	82	81	77	81	61	52	54	38	32	37
中国・四国ブロック	鳥取県	0	1	1	0	0	1	3	0	1	2	3	2	1	2	1	1	0	1	0	1
	島根県	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	1	0	1	1	2	0	1
	岡山県	4	4	5	3	7	4	11	7	4	3	7	4	2	6	3	2	8	6	3	2
	広島県	5	4	5	4	7	8	9	8	14	15	10	10	2	7	11	2	7	7	7	5
	山口県	0	0	1	0	1	1	2	3	1	1	2	2	1	5	4	1	5	0	2	5
	徳島県	2	1	0	2	1	0	4	0	3	2	1	1	1	3	6	0	3	3	1	1
	香川県	3	3	4	2	4	1	2	5	4	4	1	9	1	4	0	1	1	1	1	4
	愛媛県	3	3	1	8	3	1	2	4	6	3	1	4	5	1	2	1	2	1	2	0
	高知県	1	1	1	2	1	1	0	2	2	0	3	5	4	3	5	0	2	0	1	2
	ブロック計	19	18	18	21	24	17	34	29	35	31	30	37	18	32	32	9	29	21	17	21
九州ブロック	福岡県	8	8	13	11	12	19	23	19	17	16	24	27	46	24	33	29	12	25	17	14
	佐賀県	0	0	0	1	1	3	1	3	0	0	1	1	6	1	2	1	0	3	1	5
	長崎県	1	1	0	2	3	2	1	2	2	2	3	4	2	2	2	2	0	2	0	4
	熊本県	0	2	2	6	5	7	5	5	3	2	6	3	5	2	4	4	2	5	9	7
	大分県	2	0	1	0	2	2	1	3	2	4	2	1	3	2	8	4	8	4	2	4
	宮崎県	2	2	1	1	0	2	3	5	1	4	5	7	3	4	3	2	3	1	2	3
	鹿児島県	2	4	3	3	3	3	6	6	3	7	5	5	5	7	2	5	6	2	5	3
	沖縄県	2	2	2	8	7	7	3	11	7	8	12	10	5	8	7	8	10	10	9	7
	ブロック計	17	19	22	32	33	45	43	54	35	43	58	58	75	50	61	55	41	52	45	47
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291

令和6年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて

1 キャンペーンテーマ

U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。

2 趣 旨

本キャンペーンテーマは、主として次に掲げるメッセージを発信するものです。

これまでH I V／エイズに対して様々な取組がなされてきました。

治療法の進歩によりH I V陽性者の予後が改善された結果、H I V陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、H I Vに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、近年では、H I V治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているH I V陽性者からは、性行為によってH I Vが感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable（検出限界値未満）＝Untransmittable（H I V感染しない）、略して「U＝U」と呼ばれています。

つまり、治療の進歩でH I V陽性者の生活は大きく変わり、H I V感染の予防にもその進歩に支えられた様々な選択肢が用意されるようになりました。しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、有効な治療法がなく死に至る病であった時代の認識にとどまっている場合が少なくありません。そのことがH I V感染を心配する人たちを検査や治療から遠ざけ、また、差別や偏見を招く要因の一つになっているとも言われています。

そこで、今年度の「世界エイズデー」キャンペーンテーマは、この「U＝U」という言葉を知ることを契機に、もう一度H I V／エイズのことを皆で考えてみましょうというメッセージが込められています。ひとりでも多くの方がH I V／エイズのことを自分の事として捉え、H I V／エイズに関する検査や治療、支援などの知識を身につける契機とし、最新の知識の普及を通じて、H I V検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていきたいと考えています。

3 留意点

キャンペーンテーマは上記趣旨を踏まえ、世界エイズデー関連イベントに限らず、啓発資材や講演・研修会の内容への盛り込み、名刺やメール署名への記載等、年間を通じ、啓発活動の場において広くご利用ください。

キャンペーンテーマの趣旨は、エイズ予防情報ネットにも掲示いたしますので、ウェブサイト等で啓発活動を展開する場合のリンク先として適宜ご活用ください。

(<https://api-net.jfap.or.jp/index.html>)